

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2002093237 A

(43) Date of publication of application: 29.03.02

(51) Int. Cl

F21V 33/00**A47G 1/00****// F21Y101:02**

(21) Application number: 2000284576

(22) Date of filing: 20.09.00

(71) Applicant: ASAHI NATIONAL LIGHTING CO LTD

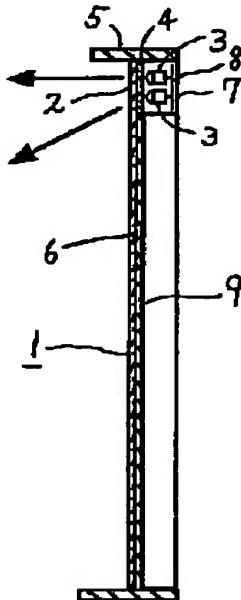
(72) Inventor: TSUBOTA SHINICHI

(54) MIRROR WITH ILLUMINATOR**(57) Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mirror with an illuminator, which can be reduced in size.

SOLUTION: In this mirror with an illuminator, a light transmitting part 2 is formed in a part (e.g. upper part) of the mirror 1, and a light source 3 such as a white light emitting diode is disposed on the back of the part. A light transmitting light diffusing plate 4 formed of white synthetic resin is disposed between the light transmitting part 2 and the light source 3.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-93237

(P2002-93237A)

(43)公開日 平成14年3月29日 (2002.3.29)

(51)Int.Cl.
F 21 V 33/00
A 47 G 1/00
// F 21 Y 101:02

識別記号

F I
F 21 V 33/00
A 47 G 1/00
F 21 Y 101:02

テ-マコ-ト[®] (参考)
K 3 B 1 1 1
D 3 K 0 1 4

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全3頁)

(21)出願番号 特願2000-284576(P2000-284576)

(22)出願日 平成12年9月20日 (2000.9.20)

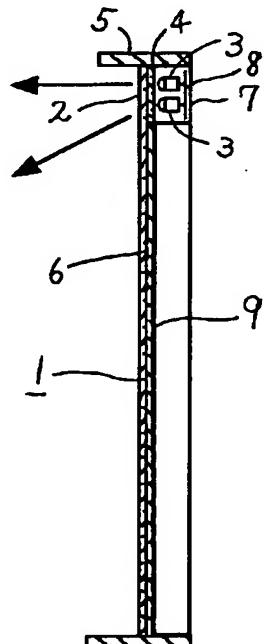
(71)出願人 392000567
朝日ナショナル照明株式会社
三重県上野市ゆめが丘7-7-6

(72)発明者 坪田 伸彦
三重県上野市市部羽根川2449番 朝日ナシ
ヨナル照明株式会社内
Fターム(参考) 3B111 AA04 AB01 AC01 AD01 CA03
CC01 CD01
3K014 AA01 QA02

(54)【発明の名称】 照明付き鏡

(57)【要約】

【課題】 小型化可能な照明付き鏡を提供する。
【解決手段】 鏡1の一部(例えば上部)に透光部2を形成し、その背面に白色発光ダイオードなどの光源3を配置した照明付き鏡である。また、透光部2と光源3の間に白色合成樹脂などで形成した透光性の光拡散板4を配置している。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 鏡の一部に透光部を形成し、その背面に光源を配置した照明付き鏡。

【請求項2】 請求項1において、透光部と光源の間に透光性の光拡散板を配置した照明付き鏡。

【請求項3】 請求項1において、透光部の背面に透光性の光拡散層を固着した照明付き鏡。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、照明付き鏡に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、照明付き鏡は洗面化粧台などに用いられているが、鏡の上方に光源を配置していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、全体として大型化するという解決すべき課題があることに着目されるべきである。本発明はこのような解決すべき課題を鑑み、小型化可能な照明付き鏡を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 請求項に示した通りである。

【0005】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施形態を説明するが、それはあくまで本発明に基づいて採択された例示的な実施形態であり、本発明をその実施形態に特有な事項に基づいて限定解釈してはならず、本発明の技術的範囲は、請求項に示した事項さらにはその事項と実質的に等価である事項に基づいて定めなければならない。

【0006】 図示の実施形態は、鏡1の一部（例えば上部）に透光部2を形成し、その背面に白色発光ダイオード*

* ドなどの光源3を配置した照明付き鏡である。また、透光部2と光源3の間に白色合成樹脂などで形成した透光性の光拡散板4を配置している。

【0007】 さらに詳述すれば、鏡1は合成樹脂製などの枠5内に設けられている。ガラス板などで形成された鏡1は、その大部分の背面に反射層6が施されているが、透光部2には、そのような反射層が施されていない、光が透過可能とされている。そして、透光部2の背面には箱状の光源ユニット7が配置され、その内部にプリント基板8に搭載された光源3があり、光源ユニット7の前面には前述した透光性の光拡散板4が配置されている。なお、9は、鏡1の背面を保護する保護板である。

【0008】 また、別例としては、光拡散板4を用いる代わりに、透光部2の背面に透光性の光拡散層を固着してももちろんよい。

【0009】 本実施形態によれば、鏡1の一部に透光部2を形成することにより、光源3を透光部2の背面に配置したので、鏡1の背部スペースを有効に利用でき、照明付き鏡の小型化が可能となり、外観的にも優れてい。また、透光部2と光源3の間に透光性の光拡散板4を配置したり、透光部2の背面に透光性の光拡散層を固着したりすると、光源3の眩しさを解消できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施形態を示す断面図

【図2】 同正面図

【符号の説明】

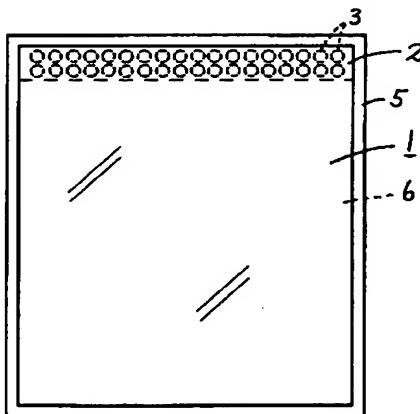
1 鏡

2 透光部

30 3 光源

4 光拡散板

【図2】



【図1】

